



日刊 九月十日 昭和四十年十月十日

柔剣弓の二優勝旗 平分会に全部獲得

武徳會支部創設以來の勝利 凱旋將軍宛らの威風

昨八日福島市武徳殿に開催された縣下各警察署連合の全分會對抗試合、柔道、剣道、弓道の第一回大会は各署共に精銳をすぐる選手をもつて勝負を争はれたが右三種優勝旗共に平分会に獲得され同日夕福島を出発した平分会左記選手は夜の九時過ぎ平着、會員多数に迎ひられて凱旋將軍のまゝの堂々たる威風であつた。

平産産の石城梨

東都市場へ十萬圓

今年の長十郎出荷八十車 早生赤は二、三十車か

平市平産産の石城梨は年と共に東都市場に騰貴を上げておるが今年も長十郎出荷は八十車で八十車二萬六千箱に達したこの總額は一箱三圓平均と見て七萬八千圓に上り引續いて移出される早生赤は二十五車乃至三十車七千箱を見込まれた前記の相場に見積れば二萬一千圓となる譯で合計十萬圓に達することになるが現在梨園四十町歩の中成園は約三十五、六十町歩であるから是れ等全園の盛果と中央市場への出荷が逐次増加しつつあるので近き將來には東都への移出額十五、六萬圓に

勇士の戦傷

石双出身二名
西由一海軍三等航空兵

支那單語

南京、上海間の鐵道をチシフーイエル、寧夏、海州間の瀋海鐵道をレンハイイエル、石家莊、太原間の鐵道を正太鐵道と稱してチオンタイイエルと云ふやうに呼ぶ。

戦地の便り

再三の討伐にて 敵全面に大打撃

平市材木町出身
鈴木一夫

拜復、時下炎熱の候尊堂はじめ皆々様には益々御健勝にて酷暑を克服、銃後の敵に御盡力下され居る由、第一線にある我々にとつては誠に無上の力強さを感じる次第であります。又本日は御心こめられたる慰問の品々御惠送にあつかり誠に感激に堪えませぬ、第一線の我々に對し常に色々と御心配下され敵々の御心勞を辱ふし御厚志の程千萬等々厚く、御禮申上げます。此處は連絡とて時折あるのみ不便なる山頂の事故はるゝ内地より送られて來た此の珍客を迎へ部下小隊全員とその喜びを分かち合つた次第であります。御陰様をもつて小生出征以來茲に第二回の大陣の夏を迎へます。元氣旺盛日夜警備

漸く終期

四倉昨日休場
四倉南市場に於ける去る六日

野崎氏の選挙費

七百八十八圓餘

物品販賣違反

公定價以上の賣却
那山市堂前町七一古物問屋梅津春治氏は紙屑類の指定價を商工省告示で一貫百十三錢であるのを知りながら昭和三十三年九月九日から十二月三日までに十六回に入札三十九百六十一貫四百八十五錢の割合で五百九十六圓十九錢に平市正町製紙業難波智吉に賣却せる外十四年一月十五日より二月九日まで十回に千三百三十三貫を十六錢の割合で二百廿一圓七十五錢に二月二十五日から三月廿二日まで四回に六百五十七貫二百九十七錢五厘の割合で百五十四圓七錢に三月廿四日より廿六日まで二回で二百五十一貫を十八錢ついで四十五圓十七錢に四月十二日及び廿一日の二回に廿二圓の割合で五百三十一貫八百を百六十四圓九十八錢に五月九日から十五日と十五日の二回を二百三十三圓の割合で三百四十四貫百を七十二圓二

遺家族慰安會

今日から三日間
平鐵道クラブでは部員の應召並びに軍屬遺家族慰安會を今日九日から十日、十一日に亘る三日間市内平館に於て開催されるが映畫余興の番組左記の如くである。

物販で罰金

三春の古物商
田村郡三春町字八幡町一五一古物問屋小野寺斧吉(空)は本年一月十六日に入札十五圓五厘の割合で三百七十七貫八百を四十九圓廿九錢に、三月廿九日は十七圓五厘の割合で二百八十七貫七百を五十四圓廿七錢に、五月五日と廿一日は廿一圓の割合で二百廿七貫二百を四十七圓八十二錢に、五月十日から三十一日まで五百廿七貫五百を廿二圓の割合で百一十四圓四錢に、合計千三百七十四貫六百を二千六百五

大井川氏の選挙

一票五十九圓
總額八百廿七圓

建武神社に 陸奥路の龍旗を迎へて

あ、其昔長途、入援の
悲壯に彷彿たり

故に是の月、天皇、親房卿をして感状を宗廟に與へて、遼路を渡り、參洛、御大事に逢ふの條、感し思食の上、所々合戦、一族相共に軍忠を致しし由、聞食され、尤つて、當時東北軍が如何に重

諸根樟

一度び西襲した尊氏は、其の地で賊力を集め、五月大舉東上した。正成は湊川に拒戦して之に討死し、義貞は京都に退いた。賊は勝に乗じて入浴するに及び、天皇、復讐難を東坂本に避けさせ給ふ。六月に至つては忠顯が討死し、

植田署管下 警防團檢閲式

昨日植田校庭で
石城郡植田署管下二町八ヶ村警防團最初の聯合檢閲は昨八日午前八時から植田小學校校庭に於て行はれたが縣から久和警防隊長出張、團員の規律訓練、機械器具の操作、團兵分列式等をなし校庭は觀衆に賑はつたが尙ほ當日消防組頭であつた錦村の山崎登、渡邊村の永山定夫兩氏に感謝状を贈られた。

文魁文堂

ホシエス二色
シャープペンシル
一本金五拾錢以上
シャープでしたら一流
品ホシエスを御指名願
上げます。
御進物としては立派な
化粧箱を用意して御座
います。

その後長年討死した。故に天皇官軍の不利を挽回するまで餘儀あらせし一時尊氏に併降し給ひて、十月、京都に還御申しました。が併し、十二月、尊氏の監視より脱れ給ひて吉野に潜幸され、既に郷里の伊勢に戻つて東西の官軍の激戦で大策を圖つてゐた親房卿と秘通し、愈々尊氏誅滅の第二回に着手し給うた。且つ天皇が之に入らせりや、畏くも勅使を顯家卿の許に遣され急ぎ來援を要し給うた。

産 業 方 向

羊毛増産に 二回の剪毛

東大農学部が農林省
の諒解で試験

福島県は全国でも屈指される綿羊王国で近年遼東地方部にありても益々飼養者が増加しつつあり其の結果石城郡下に於て二百廿頭、双葉郡で五〇頭、相馬郡で一〇〇頭合計三百七十頭を現在するに至つたが指導當局の熱心なる奨励は近き将来に此の倍数を實現するものと見られてゐる、綿羊は殊に現在の戦時下に於て必需重要品である爲め政府に於ては羊毛の不足対策に専ら綿羊の増産をもつてこれに補ふ方針を立てゝゐるのであるが東京帝大農学部では更にその上を行く羊毛増産策として従来一年に一回の剪毛をなしてゐたものを年二回剪毛することによつて相當量の産出が出来る期待の確信から農林省の諒解を得て全国府縣種畜場に於て飼育中の綿羊につき年二回剪毛の實施試験を開始することになつた、

方法は十六頭乃至二十頭を標準として初年度では半數を春秋二回に剪毛し、残る半數を春季の一回刈りとし、第二年度には半數を秋に刈つて半數は春秋二回に刈る、第三年度では全部を秋に刈つて第四年には全部を春に刈つて試験を終了することになつてゐる、

そして其の結果を詳細に比較検討し生産者側の立場となりかつた消費者側の立場ともなつて経済的得失を考慮する計畫になつてゐるがその成績

を注目されてゐる(元)

命の御用は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

一般印刷物も
御引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

お醤油は ヤマフル

醤油、味噌
たひら正宗
鯉節食料品

明治生命製城代理店

山崎與三郎

舎 屋 山崎合名會社
電話 本営業部 二七〇番
本店 二七〇番

肋膜炎、気管支、關節、神経痛、肺炎、ロイマス、
……扁桃腺、中耳炎、骨膜炎、腰痛、う疾……

生公華

……薬價……
九十五錢
二四二錢
四

……湿布で各薬……

山崎邊藥局

治淋新薬 六〇七號

國民精神總動員

日本國民必見の誌……

内閣情報部發行

寫眞週報

1部10.00

お取次致して居ります

西村屋藥局

債券、公債
両替、金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

産科婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄

入院隨意
病室完備 木村病院
平市新川町九一 電話一六四番

……
……
……
……

胃腸生

研究十八年

元京都帝大教授 醫學博士 豊島豊次郎先生 創製

ミクローセ

【新發明】

世界に誇る日本最初の
有効菌を綜合せる
……ピルツ劑……

- ★ 能食
- ★ 服めば
- ★ すぐ食慾が出る。
- ★ 能便
- ★ 食べたものは
- ★ 無味なく、榮養化
- ★ され、便通は整ひ
- ★ 快く、排泄される
- ★ 能眠
- ★ ぐつすり眠れて
- ★ 疲勞は恢復する。
- ★ 能働
- ★ 能く精力が増し
- ★ 十二分働ける。

ホシチエーンストアーにあり

平市三丁目三十番地
電話 四二九番

星製藥株式會社 ホシ藥舖
星福 島縣支部

★ ★ ★ ★ ★

今般、醫學士土井利明氏を副院長として招聘し
内科、小兒科の診療に従事せしむ。

平病院

院長 醫學博士 鈴木定藏
電話 六四一番

小兒科	院長 鈴木定藏
内科	副院長 高橋俊幸
外科	副院長 土井利明
皮膚泌尿器科	院長 鈴木定藏
物理療法科	院長 鈴木定藏
藥劑科	部長 吉本孝平

……診療時間……
……